

2012年6月1日

スカパーJSAT株式会社

超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)の社会化実験の推進  
(利用促進業務と運用業務)に関する JAXA との契約締結について

スカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区 代表取締役 執行役員社長:高田 真治)は、今般、独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)と超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)(以下、「きずな」)に関して契約を締結し、JAXAが推進する社会化実験の利用促進業務と運用業務を受託いたしましたので、お知らせいたします。

「きずな」は、JAXA 及び独立行政法人 情報通信研究機構(NICT)が開発した衛星で、2008年に打ち上げられました。Kaバンドを搭載して高速大容量通信を可能とし、現在、世界最高水準の高度情報通信ネットワークの形成を目指し実験が行われています。

今回の契約により当社は、「きずな」を使った実験利用を推進するとともに、当社横浜衛星管制センター(YSCC)が同衛星の運用管制をいたします。当社がJAXAから運用管制を受託することは初のこととなります。

また、実験利用促進業務においては、当社の知見と創意を活用し、JAXAと連携して広く実験利用を推進することにより、将来の通信衛星へのニーズを検証する等、宇宙産業の発展に寄与できることを期待しております。

スカパーJSATは、今回のJAXAからの業務の受託を通じて、政府・研究機関の衛星運用の実績を積むと共に、今後もアジアをリードする衛星オペレータとして安全で効率的な衛星運用に基づく衛星事業を推進してまいります。

### (1) 契約内容

#### WINDS 社会化実験の推進

- ・ WINDS 利用促進業務
- ・ WINDS 運用業務

(2) 「きずな」概要

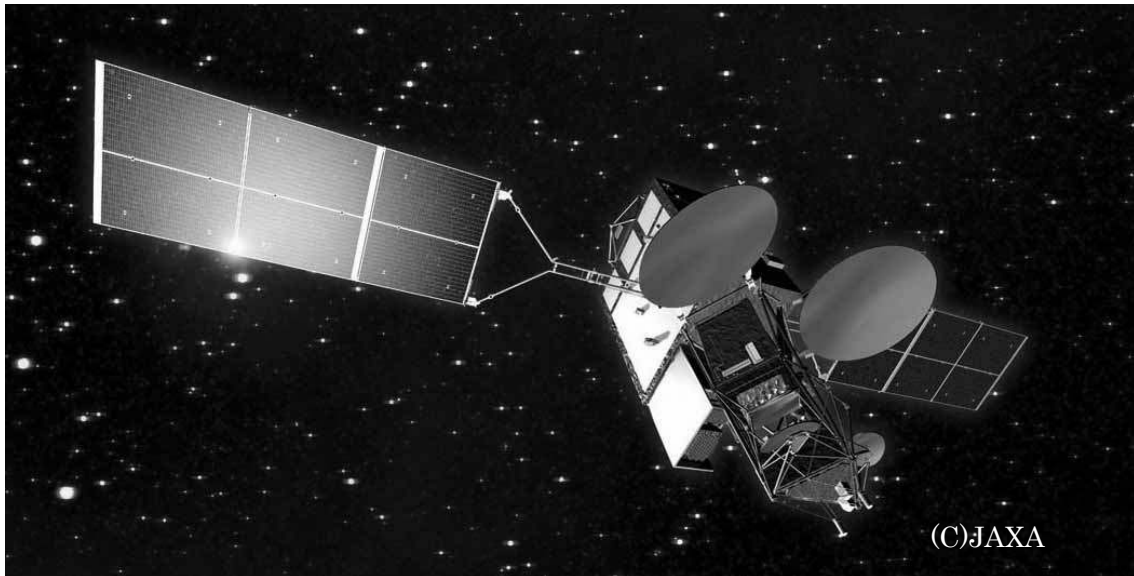


図1 「きずな」軌道上概観図

表1 「きずな」システム主要諸元

打ち上げ日	2008年2月23日
軌道	静止軌道 東経143度
設計寿命	5年(目標)
ミッション機器	MBA : Ka帯、国内送受兼用9ビーム、海外送受兼用10ビーム APAA : Ka帯、1~2ビーム変更可能、±8° 走査可能 MPA : Ka帯、TWT8 系統合成、最大出力280W 以上 ABS : 受信1.5-155Mbps 可変、送信155Mbps、3×3スイッチング*

以上